土地の高度利用と生活水準の向上

町基本構想

先月号で将来の展望、開発の基本、社会経済の将来の一部について記載しましたので本号では各部門ごとの構想を追って記載します。

横芝町における産業就業者構造を過去の推移からみると一次産業は、減少傾向にあります。また、二次、三次産業は増加傾向を示しています。この傾向も目標年次の六〇年には、一次産業一八%に対し二次産業三七%、三次産業四五%とかなり高度な就業者構造に移行するものと想定しています。また、高度な就業者構造による所得の増大を図るためには、町の基幹産業である農業の大型化、近代化を推進すると共に生産性の高い工業開発を推進する必要のあることをのべています。

高度な生活水準に

各種の産業施策を講ずることによって産業構造は著しく高度化し、それに伴う住民所得は大幅な伸張をするものと推定され、住民の生活水準は著しく豊かになるものと予想されます。一方、住民生活が豊かになるに伴って、行政需要はますます増大し、公共施設の多様化、高度化が要求されよう。町はこれに即応した施策を講ずることにより、近代的文化的な生活基盤の整備が促進されよう、としています。

各部門ごとの構想

無秩序な開発防止

産業発展の一大要因である土地の利用問題について、基本構想は、現在、農耕地等の無秩序な開発を防止し、合理的な土地利用計画を樹立して町の飛躍的な発展を図るため次のような基本方針を設定しています。

①町の中央部既成市街地及びその周辺の土地を包含し、一体性のある市街地を形成してその中心部に近代的な商業地域を配置する。

②北部の工業団地造成予定地及び旧栗山飛行場跡の土地を中心に工業地域に定める。

③屋形海岸及び坂田池周辺を健全な観光とレクリエーション地域に予定する。

④前三項のほかの土地のうち農耕地は農業振興地域の指定地として、生鮮食糧品供給基地として、保全育成を図る。北部山林地帯は自然保護地域とする。

大型化移行の農業

本町の農業は米の生産を主体に発展してきたが、米の生産過剰、他産業との生産性の格差等から転換を余儀なくされている現況にあります。今後の農業経営は、米に施設園芸、畜産を取り入れた方向に進むものと思われ、また工業等の開発に伴って小規模経営者の他産業への転業が予想されることから農業経営の大型化が図られよう。町はこれに対応した高度な生産基盤の整備を行ない、他産業と比肩しうる本町農業の将来をみています。

（次号へ続く）

公民館だより

勉強意欲は充分

アンケート結果から

本年二月実施した公民館に関するアンケートの集計がこのほどまとまりました。

この調査は、町内に居住する十八才以上の男女を対象に二、〇〇〇名を抽出して実施したもので、学習参加の状況や、学習要求、学習の可能条件、グループ活動等について調査したもので、一、二四四名の方からの回答がありました。

この集計結果によると、今までに公民館が主催した学級、講座等に参加したことのある者は男、一四%、女三七%と圧倒的に女性の参加が多く参加しての感想については、とても参考になったと答えている者が男七四%、女六九%とおおむね好評のようです。また参加の動機については、知識、教養、技能を身につけたかったのが最も多く男四九%、女六二%と非常に学習に対して積極的です。また、今何かを勉強したいと思っていますかの質問に対しては男八一%、女八六%の方が勉強したいと思っている、と答えていて、学習する意欲がみられます。次に公民館の学級や講座に参加することができる回数については、月に一回という者が男四四%、女三五%で、月二回という者が男三五%、女三〇%でした。

また、参加するのに都合のよい曜日については、日曜日と答えた者が最も多く男三九%、女三一%、次に、いつでもよいと答えた者が男二二%、女二四%、となっています。

また、参加するのに都合のよい時間帯については、午後一時から四時までの間が圧倒的に多く男四八%、女六五%であり、夜間を希望するものは意外に少なく男二七%、女七%です。次に、グループ活動への参加の状況については男二二%、女一七%の者が現在グループに参加しています。その参加の内容は、親睦を深めるためのグループに参加しているものが最も多く男三三%、女三四%で、次が、趣味を楽しむためのグループで男二六%、女三〇%となっています。残念ながら、スポーツを楽しむためのグループや、社会奉仕を目的とするグループへの参加は非常に少ないようです。また参加しての実感は男五六%、女七〇%が、現在の活動に満足を示しています。これから何かのグループに参加したいと思いますか、の質問に対しては男七一%、女六七%の者が参加したいと答えています。その参加したいと思うグループは、趣味を楽しむためのグループが圧倒的に多く男四七%、女五〇%、となっています。次に、余暇のすごし方については、男女ともテレビ、ラジオの視聴により余暇をすごす者が最も多く、続いて男性は「新聞を読む」「休養する」の順であり、女性は「身のまわりの整理をする」「家族とだんらんする」の順です。いづれも家の中にとじこもって余暇をすごすものが多いようです。

次に、公民館はどんなことをするところだと思いますか、の質問に対して、住民の教養などの向上を図るところと理解している者が男六一%、女六五%であり、また、中央公民館は住民のために役立っていると思いますか、の質問に対しては男五六%、女六七%の者が役立っていると答えています。また、公民館を利用した時の感じについては男五四%、女六六%の者が開放的で感じがよいと答えていますが、男一八%、女一三%の者がお役所的であまり感じがよくないと答えています。

以上、公民館に関するアンケート結果の概要ですが、本資料を参考に大いに反省し、公民館の果す役割を充分理解されるよう心掛け、公民館事業の活発化と充実を図って行きたいと思います。

なお、詳細については、別の機会を利用して報告いたします。